

平成29年度事業報告

中野区立療育センターアポロ園

療育センターアポロ園の事業運営目的は、「障害やさまざまな発達上の課題のある子ども達が、自分のもっている力を十分に発揮し、家庭や地域の中でともに生活ができるようになるための支援をする」こととしています。

平成26年度から社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会が指定管理者として運営を始めて、平成29年度は4年目となりました。平成28年度に実施した福祉サービス第三者評価の結果等から見出された課題や児童発達支援事業保護者アンケート、各事業評価などを分析し改善を図るとともに、着実な事業の実施に向けて取り組んでまいりました。

I 職員配置（平成30年3月31日時点）

常勤職員：園長1名・事務職1名・児童指導員6名・保育士3名・心理職3名
看護師1名・理学療法士1名・作業療法士1名 計17名

非常勤職員：心理職7名・保育士2名・児童指導員2名・作業療法士1名・言語
聴覚士3名・看護師0名・事務職1名・歯科衛生士1名
計17名

嘱託医師：小児神経医師1名・小児科医師2名・児童精神科医師2名・歯科医
師1名・整形外科医師1名・水療育講師1名 計8名

II 事業実績

1 児童発達支援事業

中野区内に在住し、通所受給者証の交付を受けた児童（医療的ケアを必要とする児童も含む）に対して、児童の年齢により2クラスに分けて支援を行いました。

9月までは1日定員36名で10月より個別指導事業が児童発達支援事業となり、1日定員は40名となりました。

1) クラス通園

① 2歳児以下クラス（ラッコ）

- ・1日定員20人（9月末日まで）
- ・1日定員14人（10月1日から変更）
- ・10時00分から13時00分、週2日親子通園

② 3歳児以上クラス（コアラ）

- ・1日定員16人
- 10時から14時30分、週5日通園（週3日単独・2日親子通園）

利用実績・年間利用率等

- ・一日定員36名（9月末まで）
- ・一日定員30名（10月から）

- ・利用実績 ①ラッコクラス 43% (9月迄)
- ②ラッコクラス 76% (10月から)
- ③コアクラス 74%

2) 個別指導 (10月から開始)

指導は原則月2回1回当たり1時間程度、月曜日から土曜日に実施しました。

① 平日

- ・一日定員 10人
- ・利用実績 89%

②土曜日

- ・一日定員 40人
- ・利用実績 31%

③対象児枠：180 枠程度

2 療育相談事業

中野区内に在住する未就学児を対象としており、発達上の課題や障害があると思われる児や保護者の相談を受けアセスメントを行い対応方法の提案をしました。また、当園の児童発達支援事業、個別指導の初期インテークとして処遇方針を決定し提案しました。

- ・療育相談件数 118件 (平成28年度117件)

3 保育園等巡回訪問事業

発達上の課題や障害があると思われる子どもが在籍する保育園・幼稚園などに、巡回訪問担当者が定期的に巡回し、対象児及び保護者への対応を保育者に対して提案、助言を通して支援を行いました。

- ・訪問延べ件数 292回 (平成28年度372件)
- ・対象児延べ人数 1,233人 (平成28年度1,771人)
- ・訪問園数 46園 (平成28年度79園)
- ・平均訪問回数 6.3回 (平成28年度4.7回)

4 個別指導事業 (この事業は10月以降児童発達支援事業に移行します。)

保育園、幼稚園などの在籍児とその保護者に対して、家庭・在籍園での生活、または、地域での生活を支援するために、個々のニーズに応じた支援や訓練を行いました。

- ・指導件数 2,578件 (平成28年度2,901件)
- ・年間登録者数 152人 (平成28年度195人)

5 一時保護事業

中野区内に在住する小学生以下の発達障害のある児童の保護者が、対象児を介護することが困難になったときに、児童を一時的に保護し、当事者の福祉の増進を図

りました。また、医療的ケアの必要な児童も受け入れ、緊急時の対応も行いました。

月曜日から土曜日 9 時 00 分から 18 時 00 分（但し土曜日は 16 時 00 分迄）

- ・利用件数 : 274 件（平成 28 年度 246 件）
- ・利用日数 : 184 人
- ・医療的ケア受け入れ件数 4 件（再）

6 おもちゃライブラリー事業

発達促進と福祉の増進に寄与することを目的に、療育センターアポロ園内におもちゃライブラリーを置き地域開放をしました。障害児（者）だけでなく就学前の健常児も利用しました。

- ・利用人数 : 595 人（平成 28 年度 354 人）
- ・貸出点数 : 492 点（平成 28 年度 338 点）

7 児童発達支援事業利用児のきょうだいで対応保育人事業

児童発達支援事業では、通園児への日常生活における基本動作や集団生活への適応指導など、療育を通して保護者も含め実施している。通園児と一緒にきょうだいが来園した時、きょうだい児に対応する保育人を確保してきょうだい児を支援しました。

- ・登録児 : 11 人（平成 28 年度 8 人）
- ・利用延べ件数 : 154 人（平成 28 年度 109 人）

8 中野区立療育センターアポロ園地域資源啓発事業

発達障害児に対する正しい理解と適切な対応を促進する目的のもと、地域の私立幼稚園や保育園の保育者等を対象に学習会を開催しました。

- ・開催日 平成 29 年 10 月 27 日（金）
- ・テーマ 「気がかりな子供のサポート」～巡回相談の活用～
- ・参加人数 35 人
- ・職員研修の一環としても活用しました。

以上